

ようじえんだより 2018年度3月号

十日町幼稚園 〒948-0083 十日町市本町西1丁目253番地
Tel:025-752-2068 Fax:025-752-2189

3月主題『だいすき』

主題聖句：わたしは世の終わりまで、いつもあなたがたと共にいる。

マタイによる福音書28章20節

- ☆ 0～2歳児：大きくなったことを神さまに感謝する。友だちと一緒に、もの・こと・人にかかわることを喜ぶ。春の自然に気づき、見つけることを楽しみ、ふれる。
- ☆ 3～5歳児：イエス様が共に歩んでくださったことに感謝し、これからも共にいてくださることを信じ、安心と希望をもつ。友だちや保育者に信頼を寄せ、満足して過ごす。お互いの成長を喜び、新しい生活に期待をもつ。

心の成長曲線

我が子を身ごもり、出産したあの日。その“いのち”の驚くべき成長の足跡を、ものの見事に短い詩にうたいあげたのが「クマのプーさん」の作者、A. ミルンです。彼の詩集「いま、わたしは6才」の中におさめられている「ぼくは六つになった」は心にしみる詩です。

一つのときは なにもかも はじめてだった

二つのときは ぼくは まるっきり しんまいだった

三つのとき ぼくはやっと ぼくになった

四つのとき ぼくはおおきくなりたかった

五つのときは なにからなにまで おもしろかった

今は六つで ぼくはありったけ おりこうです
だから いつまでも六つでいたいとぼくはおもいます。

「培う（つちかう）」ことを意識して

保育所保育指針や認定こども園教育要領などに出てくる象徴的なキーワードの一つに「培う（つちかう）」という言葉が出てきます。辞書で調べてみますと、培うは「根元に土をかけて植物を育てる」という意味があります。種には水や土（肥料）や太陽の光という環境が必要ですが、その環境さえ整えば、自身の力で育とうとする力をもっているということです。そして一つとして全く同じ花は咲かないのです。

そう思うと、私たち大人が子どもをどのように理解するかで、子どもへの対応は変わってきます。子どもは無力で何もできない（知らない）存在であるととらえる時、私たち大人は知らず知らずのうちに「命令・禁止系」の言葉を連発するはずで、しかしこの子自身に「生きよう（育とう）とする力が与えられている」ととらえるならば、私たちは子どもたちの育つ環境を整え、サポートし、その力を引き出そうとし、何よりその子なりのあり方を肯定的にとらえることができるようになると思います。十日町幼稚園の子どもたちは、確かに一人一人が生きようとする力をもっていると強く感じます。 園長：久

年間主題『イエスさまとともに生きる～愛の交わりの中で～』

主題聖句：愛する者たち、神がこのようにわたしたちを愛されたのですから、
わたしたちも互いに愛し合うべきです。

新約聖書 ヨハネの手紙Ⅰ 4章11節

保田愛策